

中核市八王子に関する地域説明会（8月開催）の実施結果について

1.説明会 概要

(1)開催日・会場

開催日	会場	来場者	会場での 発言者	アンケート 回答者
8月 5日(火)	由井市民センターみなみ野分館 多目的室	19人	1人	15人
8月 6日(水)	由木東市民センター 会議室1	12人	3人	9人
8月 7日(木)	川口市民センター 多目的室	15人	0人	14人
8月20日(水)	石川市民センター 会議室1・2	28人	3人	26人
8月21日(木)	長房市民センター 会議室1・2	50人	4人	41人
8月22日(金)	子安市民センター 調理室	30人	2人	28人
計		154人	13人	133人

(2)開催時間

午後7時～8時30分

回収率 86.4%

(3)内容

- ・中核市の概要・移譲事務の状況の説明
- ・屋外広告物条例等に係る条例案の説明
- ・質疑応答・アンケート

2.アンケート集計結果

(1)アンケート回答者数 133人（回収率86.4%）

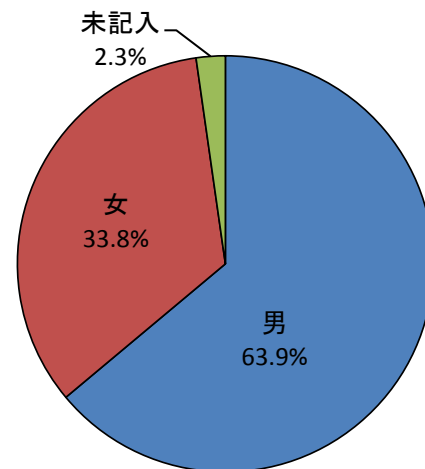
※各項目の割合は、四捨五入の影響で合計が100%にならない場合がある。

(2)設問内容

設問1 あなたご自身についてお聞きます。

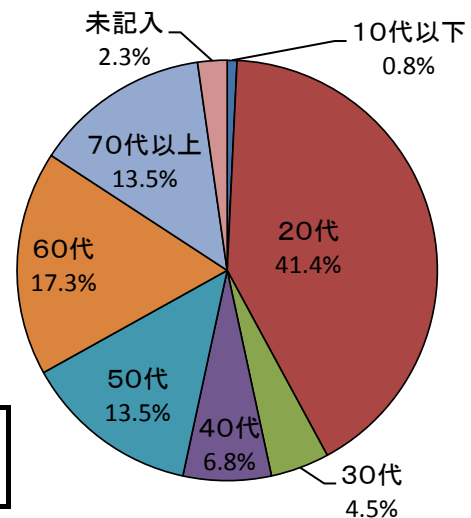
<性別>

男	85	63.9%
女	45	33.8%
未記入	3	2.3%
計	133	100.0%



<年齢>

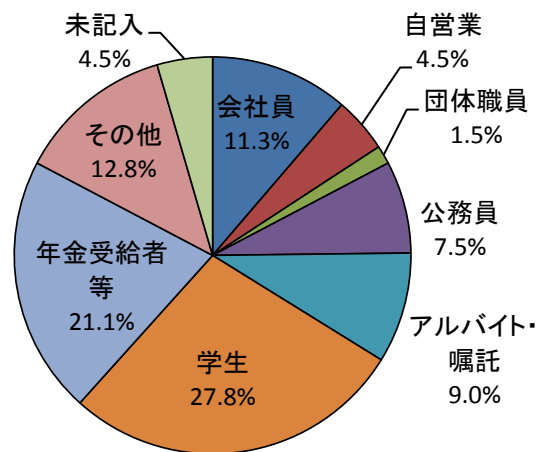
10代以下	1	0.8%
20代	55	41.4%
30代	6	4.5%
40代	9	6.8%
50代	18	13.5%
60代	23	17.3%
70代以上	18	13.5%
未記入	3	2.3%
計	133	100.0%



20代の方が約4割、60代以上の方が約3割を占めましたが、その他の各年代の方にも参加いただきました。

<職業>

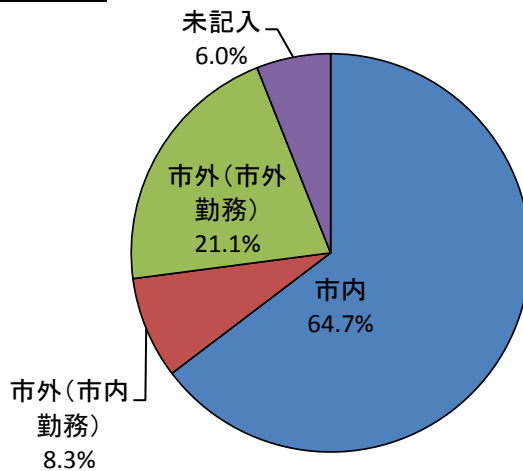
会社員	15	11.3%
自営業	6	4.5%
団体職員	2	1.5%
公務員	10	7.5%
アルバイト・嘱託	12	9.0%
学生	37	27.8%
年金受給者等	28	21.1%
その他	17	12.8%
未記入	6	4.5%
計	133	100.0%



学生の方が約3割を占めましたが、職業に偏りなく、多様な方に参加いただけました。

<住所>

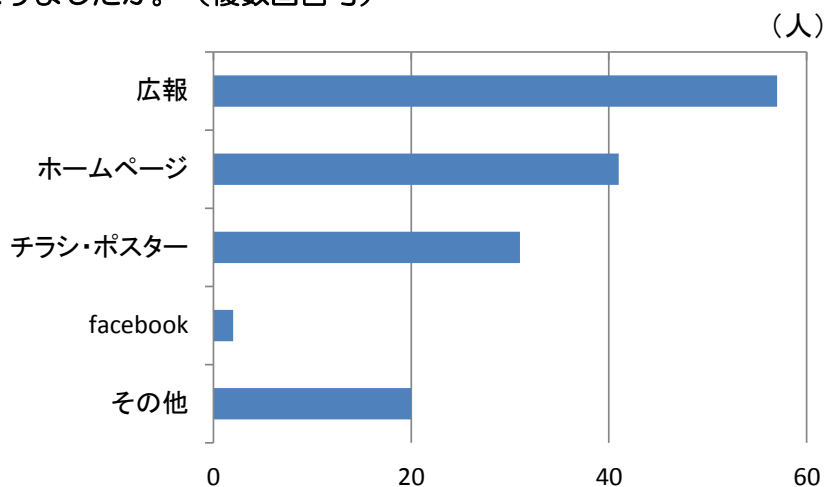
市内	86	64.7%
市外(市内勤務)	11	8.3%
市外(市外勤務)	28	21.1%
未記入	8	6.0%
計	133	100.0%



市内在住の方が約6割を占めましたが、市外在住の方にも関心を持っていただくことができました。

設問2 この説明会を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

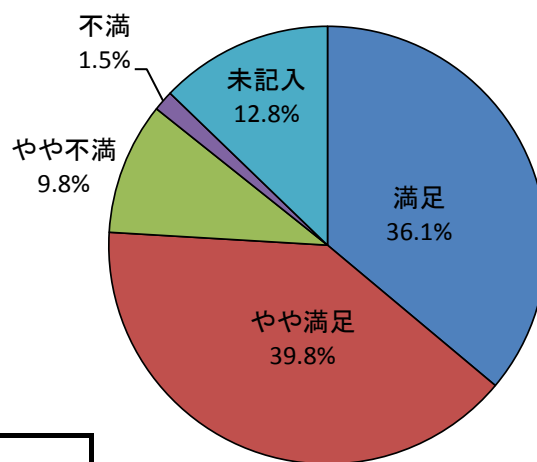
広報	57
ホームページ	41
チラシ・ポスター	31
facebook	2
その他	20
計	151



広報やホームページ、チラシ・ポスターで説明会の開催を知ったという方がほとんどでした。

設問3 説明会の内容はいかがでしたか。

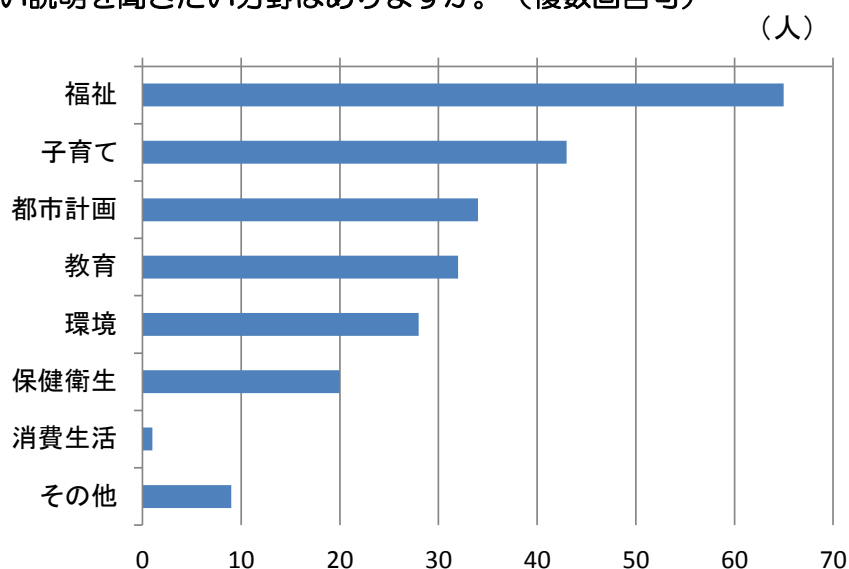
満足	48	36.1%	} 75.9%
やや満足	53	39.8%	
やや不満	13	9.8%	
不満	2	1.5%	
未記入	17	12.8%	
計	133	100.0%	



満足・やや満足と回答された方が7割を超えました。

設問4.中核市移行に関して、今後詳しい説明を聞きたい分野はありますか。（複数回答可）

福祉	65
子育て	43
都市計画	34
教育	32
環境	28
保健衛生	20
消費生活	1
その他	9
計	232



今後詳しい説明を聞きたい分野として、福祉が最も多く、2番目に子育てという順でしたが、他の分野についても多くの要望がありました。また今後も説明会を開催して欲しいという要望がありましたので、引き続き、丁寧な説明会の開催を行っていきます。

設問5.ご意見と市の考え方

ご意見	市の考え方
<p>八王子のHPなどに中核市になるとどうなるのか、新旧対照表のような形ですべて掲示してほしい。詳細な内容が知りたい。 特に環境分野については大いに興味ある。</p>	<p>現在、中核市への移行により市がどのように変わるのか、ホームページに掲載しているほか、広報はちおうじやfacebook「八王子市自治推進」などでも情報発信しています。詳細につきましては、今後、順次ホームページに掲載していきます。 ホームページ：http://www.city.hachioji.tokyo.jp/seisaku/chukakushi/ facebook：https://www.facebook.com/hachioji_jichi</p>
<p>中核市になると移譲される事務が非常に多く、絞り込むのが大変かと思いますが、秋には別のお話がうかがえるのかなと思いました。秋にはどんな内容というのが広報などに少しだけでものるといいかと思います。(スペース上難しいかと思いますが)やはり福祉について伺いたい方が多いと思います。</p>	<p>秋の説明会は11月に市内8か所で開催し、福祉・子育て・都市計画などの分野ごとに説明を行う予定です。日時や場所は広報はちおうじ10月1日号に記事を掲載するほか、市のHPやfacebook「八王子市自治推進」などでも情報発信していきます。</p>
<p>いろんなメリットがあり良いと思います。できればデメリットも聞きたいです。</p>	<p>現時点でデメリットと考えられるものはありません。課題を挙げるとすれば、中核市移行に伴い専門的な知識を必要とする事務が増えるため、専門職の確保や職員のスキルアップなどを図る必要があります。そのため、円滑な移行に向けて職員研修や東京都への職員派遣に取り組んでいます。</p>
<p>中核市となる市の取り組みにきめ細やかな対応を希望します。</p>	<p>中核市移行により、事務の効率化やスピードアップを図ることができます。また、地域の実情に詳しい市が指導監督を行うことで、迅速できめ細かな対応が可能となります。</p>
<p>過去に一度申請を断念したことがあったと思う。この時は市の負担が多くなりメリットがないと聞いたが、今回は市の負担増がないと言っていたが、65名増員になれば5億円の負担増ではないか。</p>	<p>中核市移行により必要な経費は、地方交付税で賄われますので、市の負担増はないと捉えています。</p>
<p>中核市移行になれば、たしかに便利になると思いますが、それにより、人員はどうなるのか？増えると思うが市民税が多くなるのではないか。また、それにより都の仕事が減るので都民税は安くなるか？</p>	<p>中核市移行により移譲される事務に対する人員については、現時点で65名程度の増員を見込んでいます。 地方税法に規定されている標準税率を採用しており、中核市移行に伴い、市民税・都民税の税率を変更することはありません。</p>
<p>「権限をもらった」との勘違いにより、市職員の意識教育をしっかりとやってもらいたい。(でなければならぬ)</p>	<p>中核市移行に伴い移譲される権限を十分に活用していくため、「分権時代の自治体職員」をテーマに、様々な研修を行い職員の意識向上を図っております。引き続き、「中核市八王子」にふさわしい職員を育成してまいります。</p>
<p>中核市の権限を利用してどのような行政を目指していくのかはメッセージとしてなかったのは残念。 中核市移行後市民の声を吸収する具体的手法は考えていますか？</p>	<p>中核市移行後も市民の意見を的確に政策に反映するため、説明会、公聴会、審議会、パブリックコメント、市政への提言(はがき・Eメール)など、様々な手法で市民の声をよりお聴きするよう努めていきます。</p>
<p>中核都市にあたっていろいろと業務の拡大及び市民活動へのサービス支援も同じだと思います。そこでもっと市民の声を活かすよう八王子基本計画構想の練り上げ策として、市民参画に伴う自由活動のグループ研究などの研修会を立ち上げてもらいたいものです。</p>	<p>市民の自発的な活動を支援し、市民と職員がともに学び合う場を創出するなど、市政に市民の声を反映する施策を充実していきます。</p>
<p>事務手続きがスピードアップできるのは良いと思うが、実際の生活にはわかりにくいところも多いと思いました。八王子の女性の方が中核市に興味を持てるよう、工夫をお願いします。</p>	<p>中核市に興味を持っていただくためには、市が丁寧でわかりやすい説明をしていく必要があると考えています。今後、中核市移行に伴い実施する様々な事業について、男女共同参画の視点を盛り込むなど、説明する際に工夫をしていきます。女性参画の取組の一例としては、中核市移行に伴い設置する審議会などに多くの女性が委員として参画できるよう各所管課と協議をしていきます。</p>

ご意見	市の考え方
<p>説明会の参加人数があまりに少ない。市政への関心のなさの現れなのか？中核市となって最初の来年4月の市議選の投票率は恐らく低調でしょうね！</p>	<p>中核市移行を機に、市民が市政への関心を高め投票率が向上するよう、明るい選挙推進委員や教育機関と連携して、投票機材の貸出や模擬投票の実施など啓発活動に更なる努力をしていきます。</p>
<p>手書き表示は不要。ムダ。</p>	<p>地域説明会ではスクリーンに発言内容等を手書き文字で表示していますが、それは「要約筆記」といいます。要約筆記は、聴覚障害者(耳に障害があり、聞き取ることができない、又は明瞭に聞き取りづらい方。)にとっては、手話通訳と並ぶコミュニケーション(伝達)の方法であり、特に、手話を習得していない聴覚障害者や難聴高齢者には必要な通訳です。市では、障害のある人もない人もともに安心して暮らせるまちの実現のため、これまで障害者の社会参加を困難にしていた障壁(バリア)をできるだけ取り除いていく考えです。今後も、市が行う行事などに要約筆記を派遣することがございますので御理解くださいますようお願いいたします。</p>
<p>介護について立川市や多摩市その他の市より量・質など違いがあるようになるのか？サービス付き高齢者向け住宅に入居した後も働いてよいのか？</p>	<p>介護サービスの量は、3年ごとに定める介護保険事業計画の中で市が各地域の介護サービスの必要量を推計するとともに、必要なサービスを確保するための方策を定めることとなっているため、中核市移行による影響はありません。提供されるサービスの質に関しては、これまで都の条例で規定されていた介護サービスの人員、設備や運営の基準を、市の条例で定めることができるようになったため、虐待防止研修の受講義務付けや成年後見制度の活用支援など市独自の項目を基準条例案に取り入れております。こうした取り組みにより市民の皆様にも、より良質な介護サービスを提供できるようになります。サービス付き高齢者向け住宅に入居後も働くことは可能です。</p>
<p>虐待の対応が後手にまわって悲惨な状況が多発している。今後これらに対する取組みはどうなるのかな。教員の教育、人事異動はどのようにかわるのかな。</p>	<p>子どもや高齢者、障害者等に対する痛ましい虐待事案の防止には、ご家族や近隣住民、各種社会福祉施設など、地域社会全体の協力が欠かせません。そこで、虐待の防止や早期発見に資するため、施設職員に虐待防止研修の受講を義務付ける規定を市の共通独自基準として各種社会福祉施設の基準条例案に定めて、虐待防止への協力を求めています。児童虐待の早期発見・早期対応のため、今後も、関係所管はもとより医療機関や学校、警察等、さらには民生委員・児童委員等の地域の方々も含めた幅広い関係機関相互の継続的・緊密な協力体制の充実を図っていきます。教職員の研修については、市独自の課題や市で求められる教師像を実現するための研修を市が実施するようになるため、地域の実情に即したきめ細やかな教育が提供できます。児童虐待については、早期発見・早期対応の努力義務があることや、虐待の疑いがある場合には、通告の義務があることを学校に継続的に指導しています。また、学校が判断する際にも、市教委へ相談することを伝えています。学校と市教委が連携して取り組んでいます。小・中学校教員の人事異動については、引き続き都の権限であるため、従来どおり変更はありません。</p>
<p>猫の室内飼育を努力条例より条例にして欲しい。ノラ猫にえさやり禁止条例を作って欲しい。</p>	<p>本市の動物の愛護及び管理に関する条例案では、近隣への迷惑や交通事故など猫自身の危険もあることから、猫の室内飼育を努力義務としたところですが、まずは適正な飼育についての啓発が重要であると考えており、義務とする考えはありません。また、飼い主のいない猫への餌やり禁止については、条例化の前に無責任な餌やりを無くしていくため、市内で活動されている団体等との連携や市民への啓発など様々な施策を組み合わせることが重要であると考えています。</p>
<p>仕事帰りに参加できる時間帯にして下さってとてもありがたいです。犬猫の条例について興味があるため、説明の機会を設けていただければ幸いです。</p>	<p>11月の説明会など中核市移行に関する説明の機会を捉え、よりわかりやすく市民の皆様にも「動物の愛護及び管理に関する条例」を説明していきます。</p>

ご意見	市の考え方
<p>どのような景観を目指すのか具体的に教えていただきましたかったです。</p>	<p>本市では、平成23年10月に「八王子市景観計画」の運用を開始し、景観法に基づき、広い市域の地域ごとの特色を活かした景観形成の取り組みを進めています。中核市移行により八王子市屋外広告物条例を制定し、市景観条例・景観計画と連携した取り組みを進めます。景観形成の考え方や具体的な方策については、図書館及びホームページに公開しています「八王子市景観計画」をご参照ください。 http://www.city.hachioji.tokyo.jp/seisaku/machidukuri/15128/30961/index.html</p>
<p>市内の景観の件で、商店の前の公道にも什器、商品を並べてあるところがあるので改善を望みます。</p>	<p>道路管理や道路を利用する方の安全の観点も含めて、関係所管と連携して対応していきます。</p>
<p>区画整理とともに電柱の地中化・防災・補修コストの低減・景観・安全・タバコマナー分煙化、喫煙場所の設定を進めてほしい・ゴミマナー、ゴミ投棄、捨ての罰則化も必要と思う。</p>	<p>電線地中化は多額の事業費を要するため、路線について優先順位をつけるなどして進めています。市が施行する区画整理事業で、広い歩道を確保し設置条件が整う路線については、コスト、防災面、景観面、安全・安心面等総合的な観点から検証し、必要に応じて電線地中化を図っていきます。 補修コストにつきましては、道路及び道路構造物に適切な補修を行い「長寿命化」を進めることで低減を図っていきます。 タバコマナーにつきましては、路上喫煙禁止地区を指定した駅周辺には喫煙スポットを設置しています。非喫煙者に配慮し、植栽プランターの設置やパーテーションで囲うなど、随時改善を図っているところです。禁止地区を指定していない八王子みなみ野駅については喫煙スペースを設け、モデル事業として検証しています。その結果を踏まえ、他の駅への事業展開を検討していきます。 不法投棄につきましては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき罰則規定の適用は可能ですが、まずは、パトロールの強化、啓発によりごみを捨てられないようなまちづくりを進めます。</p>
<p>中核市移行に関してとても理解が深まりました。ただ、防災等に関してどのような改善があるのかも聞きたかったです。</p>	<p>現在、中核市各市は、大規模災害が発生した際、被災した市に対して応援協力する「中核市災害相互応援協定」を締結しています。本市においても中核市移行後に、この協定に参画することで、広域的な応援協力体制の充実強化につなげます。</p>